

年齢や性別を超え、誰もが健やかに暮らし、未来が輝くまちづくり

東京2020オリンピック・パラリンピック関連 **一部新規**

事業費 209万円

子どもたちの夢を育み、スポーツの活性化を図るため、オリンピックに出場したことがある方を講師として招き、講演会や実技指導などを行います。

また、登別市はデンマーク王国のホストタウンに登録されていることから、デンマーク王国とのさらなる交流を推進していくとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックのスポンサー企業などと連携して、さまざまな取り組みを行います。



▲ホストタウンとしてデンマーク王国を応援

障がいのある方への支援の充実

事業費 7,132万円

拡大

障がいのある方や支える家族が、住み慣れた地域で、これまで以上に安心して生活できるよう、美園町にある『登別市総合相談支援センターえん』を基幹相談支援センターとして委託運営し、地域の支援体制の強化を図ります。

また、幌別町にある『児童デイサービスセンターのぞみ園』に、4月から障害児相談支援サービスを新たに追加し、発達に支援が必要な児童に対して、サービス利用計画の作成を実施するなど、より適切な支援につなげていきます。

子育て支援の充実

拡大

事業費 1,271万円

待機児童の受け皿整備として、保育所などに入所できない保育を必要とする2歳児の一時預かり事業（原則8時間）を新たに幼稚園へ委託して実施します。

また、子どもの成長や発達に悩みをもつ保護者を対象に『5歳児相談』を新たに実施します（38ページに掲載）。



妊娠期と産後の心身のケア

事業費 38万円

新規事業

産後2週間前後で体調不良や育児不安などにより、産後うつを発症する可能性のある母親を対象に、4月から産婦健康診査の助成を開始します。

また、家族などから援助を受けることが難しい産後4カ月未満の母親に対して、助産師による心身のケアや育児などのサポートを行い、産後うつなどの予防を図ります。



ピロリ菌検査の助成

拡大

事業費 3,814万円

胃がん予防に効果のあるピロリ菌検査の助成対象を拡大し、将来的に胃がんになるリスクの抑制につなげていくほか、各種がん検診などについても受診率の向上に取り組みます。

英検チャレンジ

事業費 54万円



新規事業

英語学習に対する意欲の向上や英語教育のさらなる充実を図るため、市内の小学4年生を対象に、日本英語検定協会の『英検Jr. 学校版ブロンズテスト』を実施します。

また、『実用英語技能検定3級』を受験する市立中学校に在籍する生徒に対して、検定料の半額を補助し、英検を受験しやすい環境を整えます。